

合格マニュアル 2.0

180722 版 製図試験.COM



はじめに—製図試験.comの使い方

1：メルマガで全てお知らせしています。

今時メルマガと思われるかもしれませんが、製図試験.comでは、全てのお知らせを1本のメルマガ「一筆入魂」で行っています。講習会の日程、教材の発売や正誤の有無、受験心得からテクニカルアドバイスまで、このメルマガが生命線です。弊社をご利用する際は、必ずメルマガに登録して下さるようお願いいたします。毎年、500名から1,000名程度の新規お申込みがあります。またこのメルマガを広めていただくことで私もモチベーションがあがります。是非お知り合いや先輩後輩、同僚、友人に弊社メルマガをお知らせください。登録は、<http://seizushiken.com/mmz> です。

2：現在の悩みをお聞かせください。

これまで5,000本以上のメルマガを配信し、2,600名以上の合格者を輩出してきた18年以上の経験から、あなたが今抱えている受験勉強での悩みについて対策指導することが可能です。あなた固有の受験や仕事、家庭環境への悩みは、あなたの一回性であると共に、多くの受験生がくり返してきた悩みと同じ様相を持っているからです。私の願いは常に悩めるあなたを合格させることであり、そのためにできることは何でもやるということを信条としています。まずあなたの悩みをメールでも電話でも直接お会いしてもよいのでお聞かせください。もちろん相談は無料です。

3：あなたに最適な学習方法をご提案します。

必要に応じて、これまで描いてきた図面、エスキース等を拝見いたします。また今までの学習状態や環境をお聞かせください。それらから、あなたに最適な学習方法を提案します。弊社の学習コンセプトは、基礎知識力、問題対応力、そして地頭力を鍛え、合格に不可欠な大枠・減点・時間内を意識した学習方法を採用するというものであり、次頁以降にその概略を示しました。

4：大切なのはあなたが「主体的に試みる存在」となること

元々、あなた自身は建築の仕事をしたいと思って、この業界にきたことを思い出しましょう。この製図試験学習期間というのは、2000m²級の建築物の基本計画をガンガン作ってよいという非常に楽しいかつなかなかできない経験を積める期間なのです。しかし、残念なことに資格学校に多額の費用を支払い、やりたくもない宿題をやらされ、挙げ句の果てにエスキースひとつ教えてもらえず、借金と不合格だけが残ることになっている方もまた多いのが現状です。どこで差し間違えてしまったのか。それは資格学校というシステムに乗って学習することで、あなたが主体的に試みることを放棄してしまった可能性があります。建築というプロセスは、本当は非常に奥が深くかつ生涯学ぶに値する楽しい世界です。そして、一級建築士設計製図試験はその真逆で、非常に狭く面白くなく、創造的でないまさに踏み絵のような試験です。そして、あなたにとって絶対に必要な資格なのであれば、この不毛な試験をいかに実りある学習経験に代えて合格するのかということが、必ず今後のあなたの人生にプラスに働くと信じています。弊社はその羅針盤となり、この不毛な大地で「主体的に試みる存在」となることをサポートしてまいります。

という前置きはさておき、まずメルマガへの登録をお願いします。

<http://seizushiken.com/mmz>

製図試験.com 代表 山口 達也

合格するために必要なこと

あなたは、合格ラインの設定ができていますか？

合格率 4 割前後。これが製図試験の大きな特徴です。AKB48 の上位 10% はすぐにわかりますが、上位 40% までを選抜しなさいと言われて、全ての人が納得するような選抜ができる人はいません。つまり確実に合格できる、確実に不合格になるラインは判断できますが、それ以外は全てグレーゾーンであるというのがこの試験の特徴です。だから、そう簡単に合格ラインの設定はできませんし、どんな図面でも合否がわかるというのは非常に矛盾した話なのです。

目標設定を明確にすることの重要性

この試験は一部加点もありますが、減点法による採点が基本となっています。したがって、合格する図面に関しては簡単に判断できませんが、不合格にならない図面については、不合格図面ではないということですから、ある程度知見が揃っています。そこで弊社としては、**不合格にならない答案図面を作成することが合格の要諦だ**という結論に至っています。

不合格にならない答案図面の要素

では不合格にならない図面とはどんな答案なのでしょう。

この試験では「建築物の設計に必要な基本的かつ包括的な知識及び技能」を持った受験生を合格させるとあるのですが、主に減点法をとっているため、製図試験で不合格にならないためには＝合格するためには、以下の 3 点が必須だと考えられます。

- ① 出題側が想定している大枠から外れていないこと
- ② 減点要素が限りなく少ないこと
- ③ 時間内に完成していること

「そんな当たり前です。それが合格するために必要なこと？」と思われる方は多いかもしれません。しかし実際、このことをずっとメタ認知し行動に移している受験生はそれほど多くありません。ほとんどの受験生は、この 3 つが問われているにもかかわらず、設計すること、エスキースすること、図面を描くことにその意識を持っていかれているからです。

よく考えればわかることですが、出題側は、大枠から外れるように、減点要素を踏むように、時間内完成がおぼつかないように、出題しています。ですから、問題文を読解する際、エスキースをする際、図面を作成する際に、「この課題の大枠（コンセプト）って何だろう」「この選択の方が減点は少ないのだろうか」「このタイムスケジュールで完成できるだろうか」という視点を持ちつつ、試験に臨むことが非常に重要になるわけです。

合格ラインを逆算し、確実に合格する学習方法へ

製図試験.com では、このように設定した合格ラインを共有し、確実に合格する学習方法の構築に心がけてきました。

- ① 出題側が想定している大枠から外れていないこと
 - 問題文読解／エスキースの手順ステップ化、チェックするしくみの手順化、
- ② 減点要素が限りなく少ないこと
 - 他受講生の図面共有による経験値のアップ、採点チェックリストノウハウの構築
- ③ 時間内に完成していること
 - 問題文読解／エスキースの手順ステップ化、図面作成の手順ステップ化、ステップ毎のラップタイム分析の推奨

具体的に、**大枠／減点／時間を意識しつつ、基礎知識力、問題対応力を身につける**というのが、弊社の学習カリキュラムになります。加えて「**地頭力**」の強化によって、この 3 つの視点を身につけることができるようになります。

基礎知識力が不可欠

合格するために必要な基礎知識力を身につけるためのポイントは、次の3点です。

1) エスキース手順の確立

製図試験.com では、合格するための13段階のエスキース手順(ESTEP13)が完成しています。どんな課題でも必ずこの13ステップで解くことができます。エスキース手法が固まっている方と固まっていない方では圧倒的に合格への安定感が異なります。エスキースができたり、できなかったり、という方は、このエスキース手順を確立させることをオススメします。

2) 3時間作図+1時間要点作成

作図時間については、2時間30分作図(チェック含め3時間)をめざして、新たな作図手順(DSTEP)を提示しています。作図時間を短縮させる方法は4つしかありません。①手を止めない、②手を早く動かす、③手数を減らす、④手戻りを減らす、です。そのために、どうすれば最も効率的なのかを考えながらタイムを縮める練習方法が不可欠です。

要点については、建築計画の原理原則を押さえつつ言語化できる練習と、基礎知識の暗記が不可欠です。

3) プランニングパーツの構築

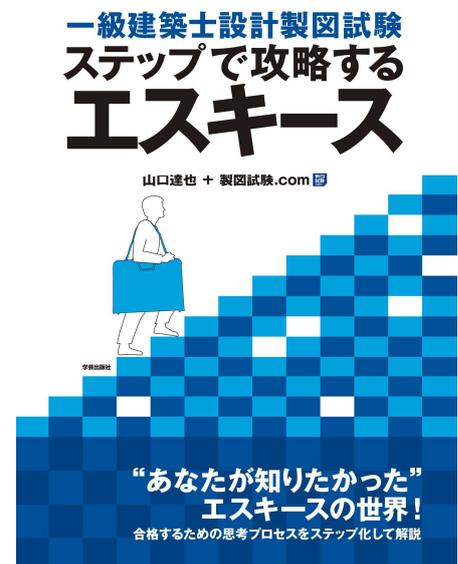
エスキースで手が止まる、作図で手が止まる原因は、考えているからです。本試験での時短のコツは、本試験までに様々な知識をパッケージング化してストックしておくことで、できるだけ本試験会場で、考える時間を減らすかです。エスキースは考えるモノですが、試験対策としては、考えたモノをストックすることで、そのストックを使って短時間に正確に答えることが合格ノウハウなのです。製図試験.com では、このプランニングパーツを構築することについて、ひたすら本試験前日までやり続けることでさらに安定的な合格をめざしています。

■上記3点全てをオンライン講座(コース1)で受講できます。

製図試験.com では上記3点について、「ステップで攻略するエスキース」(学芸出版社刊)というテキストでまとめているが、それと共に、ベネッセがタイアップしているUdemyオンライン講座を開講しています。いつでもどこでもスキマ時間で学習することが可能になりました。具体的には、エスキース合格基礎講座、作図編、要点編の3つです。直接Udemyで登録して、購入することもできますが、製図試験.comでは、これらのオンライン3講座をまとめて、合格基礎講座コース1としています。さらにコース1は本年度課題解説も含まれています。



The image shows a screenshot of the Udemy website. It features three course listings for 'Step-by-step攻略するエスキース' (Step-by-step攻略するエスキース) by Tatsuya Yamaguchi. The courses are: 1. '一級建築士設計製図試験エスキース合格基礎講座' (27 lectures, 3.5 hours), 2. '一級建築士製図試験 合格基礎講座 作図編' (12 lectures, 3 hours), and 3. '一級建築士製図試験 合格基礎講座 要点・基礎知識編' (16 lectures, 2 hours). Each listing includes a thumbnail image and a brief description of the course content.



The image shows the cover of the book 'Step-by-step攻略するエスキース' (Step-by-step攻略するエスキース) by Tatsuya Yamaguchi. The cover features a blue and white checkered pattern and a silhouette of a person carrying a bag. The text on the cover includes the title, the author's name, and the publisher's name (学芸出版社). A quote at the bottom reads: '“あなたが知りたかった” エスキースの世界! 合格するための思考プロセスをステップ化して解説'.

問題対応力の重要性

基礎知識力を身につけた上で、多くの問題を解き、その対応力・経験値を高めましょう。製図試験.com では、通信添削課題はじっくり手順を確認して解答することを重視しています。ただ単に解くだけではなく、その際の問題対応力の基礎を、過去問分析に置きカリキュラムを行います。問題対応力を短期間で定着できるようオンラインシステムを導入しています。

1) 過去問分析

製図試験は平成 21 年度に大きく改正されましたが、その枠組みにはまだ修正の余地があり、少しずつ過去問題に戻りつつある傾向にあります。そこで平成 21 年以前の過去問題について、実際に解いて分析することで様々な問題対応力を身につけるべきだと考えています。本年度は非基準階にターゲットしており、平成 28～平成 9 年の復習は必須と考えています。

そこで本年度は、重要となる類似過去問題スタディをカリキュラムに加えます。平成 30 年度課題「健康づくりのためのスポーツ施設」に合わせた資料が完成する 8 月初旬までこの過去問分析（h14、h20）が重要になります。

2) 通信添削課題

後半戦は平成 30 年度課題対応として 8 月 1 日からスタートします。（4 課題 + 模試 + 基本課題集 4 課題 + オープン課題の計 10 課題を予定）

3) ZOOM+BAND・オンラインシステム

製図試験.com では、合格基礎講座（コース 1）はベネッセ・Udemy でのオンライン講座を行っていますが、図面添削については、BAND 及び ZOOM というオンラインシステムを利用しています。BAND は、匿名で利用できるグループ LINE アプリだと思っていただければわかりやすいかと思います。ZOOM は Skype のテレビ会議のようなアプリです。共にスマホと PC 対応です。つまり、即応性の部分は LINE のような BAND を利用し、リアルオンライン講習にはテレビ会議である ZOOM を利用するイメージです。またオンライン指導コース 3 受講生はほぼ常時オンラインでの質問を可能にする予定です。

■通信添削コースは 4 つのタイプを用意しています。

8 月 1 日から始まる後半戦通信添削コース。これには受験生のニーズに応じて、4 つのタイプを用意しました。

コース	コース内容	特徴	教材	添削	O/L 閲覧	O/L 指導	直接指導	備考
コース 2	教材のみ	教材のみ（併用者向）	○	×	△	×	×	資格学校併用者向け
コース 2.5	教材 + 添削	添削付 O/L 不要	○	○	△	×	×	ニーズから復活
コース 3	O/L 添削指導	標準的コース	○	○	○	○	×	即応性高い添削
コース 4	直接指導塾	直接指導・マニアック	○	○	○	○	○	日:東京、水土:大阪

全てコース 1 :合格基礎講座を含む。△:閲覧可能だがオンラインでの添削はなし。

コース 3 の最も大きな違いは、オンラインで常時質問ができること。これを利用しない場合はコース 2.5 をお申込みください。

さらにコース 1 は不要という方には、テキストのみでコース 1 なしの再受験組価格を用意しました。

地頭力を鍛える。

合格するために欠けていた要素は何か。

エスキースもできるし問題も数多くやってきた方が、なかなか合格できていない方がおられる現実があります。資格学校でも原因がわからない、いつも A ばかりもらっているのに、本試験当日が弱い、なんてことを思っている方も多いと思います。

しかし残念ながら合格できていないということは、何かしら欠けている要素があるからです。弊社では、それをメンタルだと考え、メンタルを鍛えるためのメールマガジンも配信しています。ですが、テクニカルな要素で欠けているモノはないのか。それを常に探求していく中で得られたのが細谷功先生の「地頭力を鍛える」です。弊社ではこのテキストを推奨図書とし、製図試験用にアレンジを加えました。



「結論から」「全体から」「単純に」を使って。

「結論から」考える仮説思考力、「全体から」考えるフレームワーク思考力、「単純に」考える抽象化思考力という3つの力（メタ思考＝思考を支える上位概念）が、地頭力です。なんだか難しいことを言っているなー、と思う方も多いかもしれませんが、しかし、冒頭に書いたようにこの試験は、出題側の大枠から外れず、減点が少なく、完成していたら、不合格になることはない試験です。

さて、ここでシミュレーションしてみましょう。試験当日、非常に難しいと感じた本試験問題だったとします。でも合格者は常に4割前後であり、他の受験生にとっても難しかったはずであなただけが難しいわけではありません。多くの受験生は、その際、問題の困難さでその実力すら出せなくなりがちです。ですが、「結論」は4割程度の合格なのです。「全体から」「単純に」観ると過去問題の焼き直しがほとんどです。

と考えると、普段通りの学習の延長線上に本試験を位置付けられれば、合格に限りなく近づけるわけです。

逆にどれだけ学習を積んだとしても、本試験は別物とってしまう方は、毎回博打のような試験となっているとも言えます。この差はメンタル的な差もありますが、この地頭力によるメタ思考が支えている差とも考えられます。試験は常に「大枠／減点／時間」との勝負であり、それらを「結論から」「全体から」「単純に」俯瞰できることが、合格を引き寄せる強みを生むわけです。

キーワードは大枠／減点／時間

そのプランが大枠を捉えているのか逸脱していないのか。その選択の方がより減点が小さいのか。そのタイミングで迷うことで時間間に合うのか。読解-エスキース-要点-作図という一連の作業を進める中で、これらの疑問とチェックを何百回もくり返している方と、とにかくベストだと思う答案を作る方では、同じような答案でも全く異なる意味合いになることがわかりいただけるでしょうか。

弊社では、課題を解かせて「問題対応力」を鍛えているだけの資格学校の方法に加えて、基礎知識力としてのオンライン講座、地頭力を常に意識したオンライン講義及び添削指導を行います。そのような学習方法を積み上げることで、頭の片隅に「大枠を捉えているか／減点がより少ない選択か／時間内にまとめられるのか」を置くようになり、より合格に安定的なアプローチが可能となると考えています。

本年度試験課題解説

課題分解題

課題名：「健康づくりのためのスポーツ施設」

要求図書：1階平面図・配置図（縮尺 1/200）、2階平面図（縮尺 1/200）、3階平面図（縮尺 1/200）
断面図（縮尺 1/200）、面積表、計画の要点等

（注1）健康増進のためのエクササイズ等を行う温水プールのある建築物の計画

（注2）パッシブデザインを積極的に取り入れた建築物の計画

（注3）建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分の位置及び防火設備等の適切な計画

防火区画（面積区画、竪穴区画）等の適切な計画

避難施設（直通階段の設置・直通階段に至る歩行距離、歩行経路及び重複区間の長さ、

敷地内の避難上必要な通路）等の適切な計画

建築物の計画に当たっての留意事項

- ・敷地の周辺環境に配慮して計画する。
- ・バリアフリー、省エネルギー、セキュリティ等に配慮して計画する。
- ・各要求室を適切にゾーニングし、明快な動線計画とする。
- ・建築物全体が、構造耐力上、安全であるとともに、経済性に配慮して計画する。
- ・構造種別に応じて架構形式及びスパン割りを適切に計画するとともに、適切な断面寸法の部材を配置する。
- ・空気調和設備、給排水衛生設備、電気設備、昇降機設備等を適切に計画する。

注意事項

「試験問題」及び上記の「要求図書」、「建築物の計画に当たっての留意事項」を十分に読んだうえで、「設計製図の試験」に臨むようにして下さい。なお、設計と条件に対して解答内容が不十分な場合には、「設計条件・要求図面等に対する重大な不適合」等と判断されます。

■健康づくりのためのスポーツ施設

今年は前半戦で4課題のうち2課題で屋内プールを取り上げましたが、世相を反映して、予想通り「スポーツ施設＝プールの出題となりました。地域住民のためのスポーツ公共施設から、フィットネスクラブの民間スポーツ商業施設までが考えられます。類似課題はh14とh20。地域系がh14、商業系がh20です。このレンジの中での出題になると考えられます。ポイントは「健康づくり」という単語。厚労省の「健康増進施設」かどうか。念のため、健康増進施設についても理解を深めておく必要があります。

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/undou04/>

■合否を分けないが押さえねばならないポイント

例年、注釈がつかますが、この部分は「出題するので勉強しておいてね」というガイドラインとなっています。全員がここは学習するので、実際はあまり合否には関係しませんが、確実に出題されるので押さえておく必要があります。

（注1）健康増進のためのエクササイズ等を行う温水プールのある建築物の計画

「健康増進のためのエクササイズ等を行う」のは温水プールなのか、建築物なのかはわからないので、両方検討しておく必要があります。とにかく温水プールが出題されることは間違いないので、建築計画、構造計画、設備計画は全て押さえておきましょう。

（注2）パッシブデザインを積極的に取り入れた建築物の計画

これは定番になってきましたね、これもプールと絡めて理解を深めておくことが重要になります。

(注3) 建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分の位置及び防火設備等の適切な計画

→初出題ですが、建築確認申請では常識問題です。

→それ以外これはいつもの通り計画すればよく、わざわざ明文化した意味がよくわからない常識範囲です。

■ 初公開。「計画に当たっての留意事項」の事前提示

これにどのくらい意味があるのかわかりませんが、本年度は、このごく当たり前の留意事項が事前公開されています。全て守らねばならないことが書かれていますが、1点だけ、昨年度から始まったゾーニング記述があります。「各要求室を適切にゾーニングし、明快な動線計画とする。」これは平成28年度まで各部門を〜でした。ということは本年度も、単なる部門ゾーニングではなく、各要求室の中身を理解した上で、動線、ゾーニングを検討する課題とする、ということを事前提示していることとなります。

■ 製図試験対策

1) 施設見学・プラン集めをして建築計画を体感すること

まず、施設見学に行きましょう。裏方はみせてもらえないと思いますが、利用者動線だけで十分です。ただし、前述した公共施設系と商業施設系の両方は早めの見学をしておきましょう。実際に見学よりも利用してくることをお勧めします。

と共に平面計画はネット等で集めておきたいところです。加えて h14、h20 は必須です。

2) 構造計画の特徴は2点だが。

構造系は、プール上部は特定天井になりますし、下部はダブルラーメンになる可能性が高いのですが、ワンパターンですので、それほど恐れる必要はありません。しかしむしろプール以外の部分、基礎周り、地下室周りはしっかり理解しておきたいところです。

3) 設備計画は、機器の構成と大きさをプールと合わせて理解しよう

設備系は、各種電子カタログ等を集めるようにしましょう。温水プールの空調、温水の循環管理、照明、省エネ、環境負荷低減、パッシブデザインまでは全てセットで押さえることになります。製図試験 com では、関連する全カタログを全て収集しているので、受講生は、カタログ集めする必要はありません。

■ 出題予想

1) 温水プールは 1/2/3 階の全てがあり得る。

温水プールの設置階は 1/2/3 階の全てをやっておく必要があります。ただ出題予測はできています（公開できませんがw）それぞれポイントが異なるので、設置階ごとにまとめておきましょう。また各階のタイプを施設見学することが望ましいです。

2) 温水プールにまつわる全ての設備計画の理解が求められる。

温水プールにまつわる設備計画は結構様々なオプションがあり、差がつきやすいところです。ですので、ここはしっかり出題したいと考えていると思われます。

3) 気になる「各要求室の適切ゾーニング」

h29 に初出題された「各要求室の適切ゾーニング」の事前予告は気になります。動線や機能を縛って、各階ゾーニングを難しくさせる設定、もしくは EV でゾーニングさせる設定、に加えて、プール特有のドライウエットゾーニング、スポーツ施設特有の更衣動線、課金ゾーニングあたりは必須だと考えられるでしょう。

4) 最後までわからない「公共施設系」か「商業施設系」か。

出題は、広く地域住民に利用されて愛されるような公共施設系健康増進スポーツ施設（厚労省系健康増進施設）か、はたまた駅前立地でオシャレな商業施設系健康増進スポーツ施設なのか。これに関しては、両方準備しておいた方がよいでしょう。

平成 30 年 7 月 22 日 製図試験 com 代表 山口 達也

製図試験.com カリキュラム

製図試験.com カリキュラムの特徴

- 1) 3つの力を合理的に学習可能 2) 過去問題の解説 3) 全 10 課題程度で無理ないスケジュール
4) 問題作成者による O/L 添削・解説 5) リーズナブルな費用

弊社では、後半戦通信添削に向けて、基礎知識力、問題対応力、そして地頭力をつけていくことで、大枠から外れず、減点要素が少なく、時間内完成する答案を作成するためのカリキュラムを設定しています。

後半戦スケジュール

そのために学科試験終了日から製図試験当日までを次の 5 つのタームに分けて進める予定です。

製図試験後半戦攻略スケジュール

ver.18/05/07

項目\日程	7月		8月		9月		10月	備考
	第1		第2		第3		第4	
	基礎知識力		h30分析		問題対応力		弱点	
試験	学科○						製図○	本試験は10月14日
ガイダンス	○							東京・大阪・オンラインで開催
◎ オンライン合格基礎講座								4月からスタートいつでも受講可能
◎ 類似過去問題研究								JUNE PROGRAMといつでも受講可能
オープン課題								無料公開の学習用課題
h30課題分析帖			○					h30用エスキース手順・課題分析
後半戦通信添削コース		1		2	3	4		コース2/2.5/3/4 あり。
基礎問題集4課題			○	○				h30問題集(問題/解答のみ)
h30パーツ集					○			h30用パーツ集
シンクロ二模試							○	上記コースに含まれます。10月7日予定
直前講習会							○	直前のまとめを行います。
セミナー (東京・大阪O/L)	○	○	○	○	○	○	○	計6回程度を予定

◎については、6月にJUNE PROGRAMとして開催

第 1 ターム：基礎知識及び過去問題対策 第 2 ターム：本年度課題学習及び対策

第 3 ターム：問題対応力強化

第 4 ターム：弱点補強対策

第 5 ターム：弱点補強及びまとめ

本年度は例年に比べて 1 週間試験が遅いため、8 月 10 日くらいまで特に過去問題分析を綿密に行うことにしました。

過去問題解説資料としては、h14、h20 を受講生には公開予定です。

また本年度は、無料公開のオープン課題を含め、全 10 課題+過去問分析で通信添削コースを設定しています。

加えて、オンラインサポートを行うため、自宅での受講や質問が可能となっています。

リーズナブルな費用

コース 1 は、3つのオンライン合格基礎講座 + 関連過去問題解説 + h30 課題分析帖 + h30 パーツ集がセットになっています。

通信添削コースは、原則コース 1 とセットとし、全 4 コースあります。教材のみで添削不要であればコース 2 の 77,000 円、オンライン添削のコース 3 であれば 149,000 円です。全てを含んだ直接指導塾コース 4 は、209,000 円ですが、これは定員になり次第終了します。内容と金額の詳細は、次頁の学習アイテム一覧をご覧ください。さらに再再受験組でコース 1 は不要という方には、h30 課題分析帖 + h30 パーツ集のみのセットで-24,000 円としました。 申込は、<http://b-flag.net/sl/> から。

学習アイテム一覧

A:4つのコース

A110Y	基礎知識習得コース1	対象：製図試験の基礎が学びたい方	オススメ度◎
内容	<p>Udemy（ベネッセが運営補助）というオンライン講座を利用して、5つのオンライン講座が学べます。各種資料は、ダウンロード可能です。Udemyの講座は、合格するまで何度でもご覧になれます。下記 URL では講座のはじめの部分を無料公開しています。</p> <p>◆エスキース講座 https://www.udemy.com/seizushiken101/ ・自己分析課題、エスキースステップ（ESTEP）解説、パーツ集の考え方/作り方 全27レクチャー ・+過去問解説（h14、h20）</p> <p>◆作図講座 https://www.udemy.com/seizushiken201/ ・作図手順（DSTEP）とその解説、作図練習の行い方、全9レクチャー + ボーナス3レクチャー</p> <p>◆要点講座 https://www.udemy.com/seizushiken301/ ・建築計画系の要点、構造/設備系の要点の記述法、暗記テキスト付 全16レクチャー</p>		
教材	<p>Udemy内に設定したオンライン講座。1レクチャーあたり3～20分。スマホ、タブレット、PCで利用可能。</p> <p>自己分析課題問題/解題・解答例・パーツ集・計画の要点帖（以上ダウンロード版）</p> <p>なお、過去問題分析は、エスキース講座の中にも含める物としました。</p> <p>8月中旬に「h30課題分析帖（B200Y）」を冊子でお送りします。</p>		
費用	30,000円	備考	スマホ・タブレットでの閲覧はUdemyアプリが便利です。



コース1/2/2.5/3/4の概要			2018/6/22
Code	コース	金額	備考
A110Y	コース1 オンライン学習セット	30,000	Udemyを利用したオンライン学習+テキスト
	A)オンライン講座（エスキース、製図、要点）	24,000	
	B)オンライン6月P（過去問のみ）	10,000	コミセンを中心とした過去問解説
B200Y	C)h30課題分析帖+パーツ集	6,000	h30用テキストです。これはコース生必須
A210S	h30後半戦課題教材支援コース2（教材のみ+コース1）	77,000	教材*+オンライン学習セット
	h30後半戦課題教材支援コース2（教材のみ+Cのみ）	53,000	教材*+B200Y 基礎のある再受験組向け
A250S	h30後半戦課題教材支援コース2.5（教材+添削+コース1）	97,000	教材*+添削+オンライン学習セット
	h30後半戦課題教材支援コース2.5（教材+添削+Cのみ）	73,000	教材*+添削+B200Y 基礎のある再受験組向け
A310S	h30後半戦課題オンライン指導コース3（教材+オンライン添削+コース1）	149,000	教材*+オンライン添削+オンライン学習セット
	h30後半戦課題オンライン指導コース3（教材+オンライン添削+Cのみ）	125,000	教材*+オンライン添削+B200Y 基礎のある再受験組向け
A410S	h30後半戦直接指導塾BMSコース4	209,000	直接指導塾+オンライン指導のフルコースです。
	h30後半戦直接指導塾BMSコース4（コース1はCのみ）	185,000	コース4でオンライン講座は不要な再受験組向け
■10大教材と添削・オンライン・塾の違い			
教材*内容	①添削課題セット4（問題、解題、解答例：全て紙物）	ほぼ2週間に1回の割合で課題を解きます。	
	②模試1（問題、解題、解答例）	10月7日を予定。	
	③基礎問題集4課題（問題、解答例、解題はなし）	基礎的なパターンを理解するためのもので8月中旬に4課題送ります。	
	④オープン課題解答例セットを含む、①②③全10課題	7月23日公開予定。誰でも問題を見ることができます。	
	⑤用紙セット（厚紙7枚、エスキース用紙7枚）	A2筒でお送りします。	
	⑥h30課題分析帖冊子（B200Y）、最終まとめ資料、	h30課題の分析テキスト（8月中旬）、最終まとめ（10月上旬）	
	⑦パーツ集、動画配信資料等のダウンロード権	h30版パーツ集（9月上旬）、各種ダウンロード資料	
	⑧オンラインレビューZOOMの参加権	コース2/2.5/3/4の全員に配信します。	
	⑨添削メンバー用メール配信	コース2/2.5/3/4の全員が参加可能です。	
	⑩メンバーズサイトBAND参加権	コース2/2.5/3/4の全員が参加可能です。ここで質問可能。	
添削	添削課題の添削を行います。提出はPDFでも可。別途費用ですが基礎問題集の添削も行います。		
オンライン添削	用紙で添削し、オンライン指導・質問回答を行います。平日10時-22時の予定。		
直接塾	直接指導し、オンライン指導も行います。10回程度で8月以降毎週行います（自習込）。		

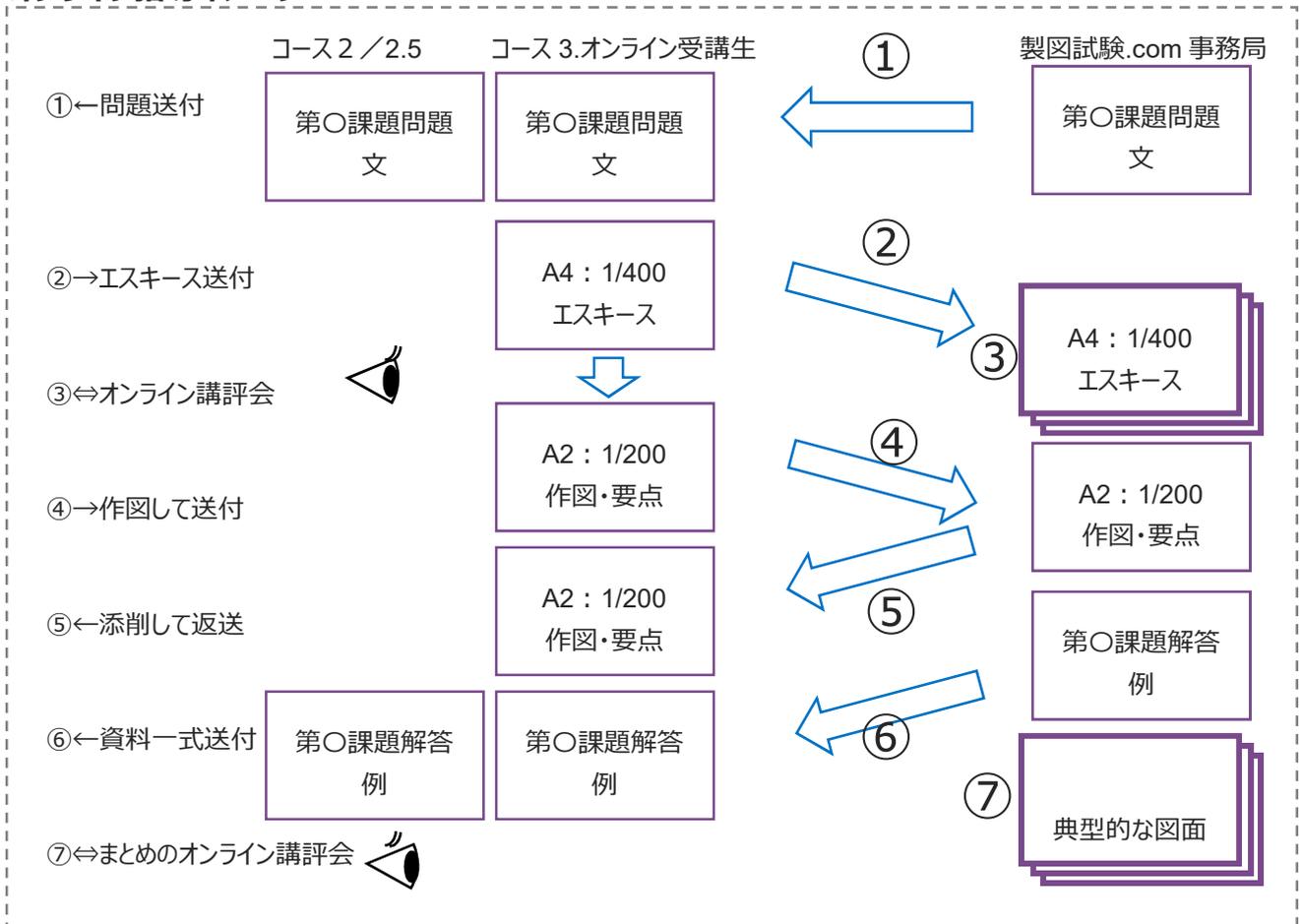
お申し込みは、<http://b-flag.net/s/> まで

A210S	h30 課題教材支援コース 2 (教材のみ)	対象：教材のみが必要な方	オススメ度◎																																																																																																																																	
内容	<p>資格学校の課題だけでは、不安になる方。違う角度の問題を必要とする方のために、製図試験.com の通信添削課題教材一式のみを購入できるのがこのコース 2 です。</p> <p>毎年、教材だけを希望する受験生が多いため、このコースを作りました。</p> <p>図面添削がないだけで、あとは製図試験.com の通信添削コースのほとんどの教材を手に入れることができます。</p> <p>製図試験後半戦攻略スケジュール ver.18/05/07</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">項目\日程</th> <th colspan="2">7月</th> <th colspan="2">8月</th> <th colspan="2">9月</th> <th>10月</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th>第1</th> <th>第2</th> <th>第3</th> <th>第4</th> <th>第5</th> <th></th> </tr> <tr> <th>基礎知識力</th> <th>h30分析</th> <th>問題対応力</th> <th>弱点</th> <th>まとめ</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>試験</td> <td>学科○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>製図○</td> <td>本試験は10月14日</td> </tr> <tr> <td>ガイダンス</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>東京・大阪・オンラインで開催</td> </tr> <tr> <td>◎ オンライン合格基礎講座</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4月からスタートいつでも受講可能</td> </tr> <tr> <td>◎ 類似過去問題研究</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>JUNE PROGRAMとしても受講可能</td> </tr> <tr> <td>オープン課題</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>無料公開の学習用課題</td> </tr> <tr> <td>h30課題分析帖</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>h30用エスキース手順・課題分析</td> </tr> <tr> <td>後半戦通信添削コース</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>コース2/2.5/3/4あり。</td> </tr> <tr> <td>基礎問題集4課題</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>h30問題集(問題/解答のみ)</td> </tr> <tr> <td>h30パーツ集</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>h30用パーツ集</td> </tr> <tr> <td>シンクロ模試</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>上記コースに含まれます。10月7日予定</td> </tr> <tr> <td>直前講習会</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>直前のまとめを行います。</td> </tr> <tr> <td>セミナー (東京・大阪O/L)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>計6回程度を予定</td> </tr> </tbody> </table> <p>◎については、6月にJUNE PROGRAMとして開催</p>			項目\日程	7月		8月		9月		10月	備考	第1	第2	第3	第4	第5		基礎知識力	h30分析	問題対応力	弱点	まとめ		試験	学科○						製図○	本試験は10月14日	ガイダンス	○							東京・大阪・オンラインで開催	◎ オンライン合格基礎講座								4月からスタートいつでも受講可能	◎ 類似過去問題研究								JUNE PROGRAMとしても受講可能	オープン課題								無料公開の学習用課題	h30課題分析帖		○						h30用エスキース手順・課題分析	後半戦通信添削コース	1	2	3	4				コース2/2.5/3/4あり。	基礎問題集4課題		○	○					h30問題集(問題/解答のみ)	h30パーツ集				○				h30用パーツ集	シンクロ模試							○	上記コースに含まれます。10月7日予定	直前講習会							○	直前のまとめを行います。	セミナー (東京・大阪O/L)	○	○	○	○	○	○	○	計6回程度を予定
項目\日程	7月		8月		9月		10月	備考																																																																																																																												
	第1	第2	第3		第4	第5																																																																																																																														
	基礎知識力	h30分析	問題対応力	弱点	まとめ																																																																																																																															
試験	学科○						製図○	本試験は10月14日																																																																																																																												
ガイダンス	○							東京・大阪・オンラインで開催																																																																																																																												
◎ オンライン合格基礎講座								4月からスタートいつでも受講可能																																																																																																																												
◎ 類似過去問題研究								JUNE PROGRAMとしても受講可能																																																																																																																												
オープン課題								無料公開の学習用課題																																																																																																																												
h30課題分析帖		○						h30用エスキース手順・課題分析																																																																																																																												
後半戦通信添削コース	1	2	3	4				コース2/2.5/3/4あり。																																																																																																																												
基礎問題集4課題		○	○					h30問題集(問題/解答のみ)																																																																																																																												
h30パーツ集				○				h30用パーツ集																																																																																																																												
シンクロ模試							○	上記コースに含まれます。10月7日予定																																																																																																																												
直前講習会							○	直前のまとめを行います。																																																																																																																												
セミナー (東京・大阪O/L)	○	○	○	○	○	○	○	計6回程度を予定																																																																																																																												
教材	<p>教材は下記の 10 大アイテムとなります。</p> <p>①Udemy オンライン講座 (A110Y)</p> <p>②通信添削 4 課題 + ③模試 + ④基礎問題集 4 課題+⑤オープン課題解答例セットを含む 10 課題</p> <p>⑥h30 課題分析帖冊子 (B200Y) 、最終まとめ資料、</p> <p>⑦パーツ集、動画配信資料等のダウンロード権</p> <p>⑧オンラインレビューZOOM の参加権</p> <p>⑨添削メンバー用メール配信</p> <p>⑩メンバーズサイト BAND 参加権</p>																																																																																																																																			
費用	77,000 円 B200Y のみ A110Y なし : 53,000 円	備考	A110Y、B200Y は含まれています。 コース 2.5 / 3 / 4 へのバージョンアップは差額精算																																																																																																																																	

A250S	h30 課題教材支援コース 2.5	対象：教材と添削のみが必要な方	オススメ度○
内容	A210S に 図面添削をセット したコースです。オンライン個人指導・及びオンライン講評は必要ないが、添削は必要というニーズがあったため、急遽コース設定しました。		
費用	97,000 円 (オンライン不要の再受験組 : B200Y のみ A110Y なし : 73,000 円)		
教材	A210S と同様	備考	A110Y、B200Y は含まれています。

A310S	h30 課題オンライン指導コース 3	対象：オンライン指導を必要とする方	オススメ度◎
内容	<p>製図試験.com のメイン教材です。</p> <p>これまでの通信添削コースでは、直接指導することがなかなか実現していませんでしたが、このオンライン指導コースでは、オンラインアプリ ZOOM を使うことによって、直接添削指導をすることが可能となりました。</p> <p>オンライン指導コースの方の特典は、</p> <p>①オンライン図面指導（課題レビューの際、取り上げて解説もしくは個別解説）</p> <p>②オンライン個別指導（オンラインで実際に図面と改善方法について個別指導します）</p> <p>③オンライン質問応答：ZOOM を使って、日々の疑問点を質問できます。とても表現しにくいのですが、オンラインで製図試験.com の事務所に訪問して質問するようなイメージです。</p> <p>の 3 点です。</p> <p>特に資格学校まで遠方の方で、自宅で学校へ行く以上の指導を受けたい場合は、このコースをオススメします。</p>		
教材	<p>教材は下記の 10 大アイテム+オンライン指導です。</p> <p>①Udemy オンライン講座（A110Y）</p> <p>②通信添削 4 課題+③模試+④基礎問題集 4 課題+⑤オープン課題解答例セットを含む 10 課題</p> <p>⑥h30 課題分析帖冊子（B200Y）、最終まとめ資料、⑦パーツ集、動画配信資料等のダウンロード権</p> <p>⑧オンラインレビュー-ZOOM の参加権 ⑨添削メンバー用メール配信</p> <p>⑩メンバーズサイト BAND 参加権</p> <p>⑪オンライン図面指導 ⑫オンライン個別指導 ⑬オンライン質問応答</p>		
費用	149,000 円	備考	A110Y、B200Y は含まれています。
	B200Y のみ A110Y なし：125,000 円		コース 4 へのバージョンアップは差額精算

オンライン指導イメージ



A410S	直接指導塾 BMS コース 4	対象：スクーリング可能な方	オススメ度◎																																																																											
内容	<p>通常の資格学校のようなスクーリングです。ただし、主体的に学ぶということを重視しているため、講習は隔週とし、隔週で自主勉強を行います。共に考え学びつつ主体的に行動することが建築士の職能としては不可欠だからです。日程は下記の通りで、大阪は水もしくは土曜日に大阪市内西九条で、東京は日曜日に飯田橋でおこなっています。人数限定のスクーリングで席数には限りがあります。7月からの予定は下記の通り。</p> <p>平成30年度 講習会・直接塾BMS日程予定表 ver.180719</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>講習</th> <th>大阪(水)</th> <th>大阪(土)</th> <th>東京(日)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ライブレクチャー</td> <td>7月23-25日</td> <td>7月29日(日)</td> <td>7月26-28日</td> <td>h30解説</td> </tr> <tr> <td>自主勉強会(講師なし)</td> <td>8月1日</td> <td>8月4日</td> <td>8月5日</td> <td>講師なし</td> </tr> <tr> <td>夏期講習会(第1課題)</td> <td colspan="2">8月11日</td> <td>8月12日</td> <td>第1課題変形課題</td> </tr> <tr> <td>夏期講習会(作図)</td> <td colspan="2">随時</td> <td>8月13日</td> <td>オープン講習会</td> </tr> <tr> <td>自主勉強会(講師なし)</td> <td>8月15日</td> <td>8月18日</td> <td>8月19日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第2課題講習</td> <td>8月22日</td> <td>8月25日</td> <td>8月26日</td> <td>第2課題変形課題</td> </tr> <tr> <td>自主勉強会(講師なし)</td> <td>8月29日</td> <td>9月1日</td> <td>9月2日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第3課題講習</td> <td>9月5日</td> <td>9月8日</td> <td>9月9日</td> <td>第3課題変形課題</td> </tr> <tr> <td>自主勉強会(講師なし)</td> <td>9月12日</td> <td>9月15日</td> <td>9月16日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第4課題講習</td> <td>9月19日</td> <td>9月22日</td> <td>9月23日</td> <td>第4課題変形課題</td> </tr> <tr> <td>特別講習</td> <td>随時</td> <td>随時</td> <td>9月24日</td> <td>弱点補強</td> </tr> <tr> <td>後半戦シンクロ二模試</td> <td colspan="2">10月7日(日)</td> <td>10月6日(土)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>直前最終講義</td> <td colspan="2">10月7日(日)</td> <td>10月6日(土)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>本試験予定日</td> <td colspan="3">10月14日</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			講習	大阪(水)	大阪(土)	東京(日)	備考	ライブレクチャー	7月23-25日	7月29日(日)	7月26-28日	h30解説	自主勉強会(講師なし)	8月1日	8月4日	8月5日	講師なし	夏期講習会(第1課題)	8月11日		8月12日	第1課題変形課題	夏期講習会(作図)	随時		8月13日	オープン講習会	自主勉強会(講師なし)	8月15日	8月18日	8月19日		第2課題講習	8月22日	8月25日	8月26日	第2課題変形課題	自主勉強会(講師なし)	8月29日	9月1日	9月2日		第3課題講習	9月5日	9月8日	9月9日	第3課題変形課題	自主勉強会(講師なし)	9月12日	9月15日	9月16日		第4課題講習	9月19日	9月22日	9月23日	第4課題変形課題	特別講習	随時	随時	9月24日	弱点補強	後半戦シンクロ二模試	10月7日(日)		10月6日(土)		直前最終講義	10月7日(日)		10月6日(土)		本試験予定日	10月14日			
講習	大阪(水)	大阪(土)	東京(日)	備考																																																																										
ライブレクチャー	7月23-25日	7月29日(日)	7月26-28日	h30解説																																																																										
自主勉強会(講師なし)	8月1日	8月4日	8月5日	講師なし																																																																										
夏期講習会(第1課題)	8月11日		8月12日	第1課題変形課題																																																																										
夏期講習会(作図)	随時		8月13日	オープン講習会																																																																										
自主勉強会(講師なし)	8月15日	8月18日	8月19日																																																																											
第2課題講習	8月22日	8月25日	8月26日	第2課題変形課題																																																																										
自主勉強会(講師なし)	8月29日	9月1日	9月2日																																																																											
第3課題講習	9月5日	9月8日	9月9日	第3課題変形課題																																																																										
自主勉強会(講師なし)	9月12日	9月15日	9月16日																																																																											
第4課題講習	9月19日	9月22日	9月23日	第4課題変形課題																																																																										
特別講習	随時	随時	9月24日	弱点補強																																																																										
後半戦シンクロ二模試	10月7日(日)		10月6日(土)																																																																											
直前最終講義	10月7日(日)		10月6日(土)																																																																											
本試験予定日	10月14日																																																																													
教材	A310Y + 上記直接指導塾(7回)及び自主勉強会(4回)を予定しています。																																																																													
費用	209,000円 B200Yのみ A110Yなし: 185,000円	備考	全ての教材が含まれています。																																																																											

<コースアドバイス>

東京・大阪でスクーリング可能な地域にお住まいであれば、資格学校の半額の4.直接指導塾をオススメします。
通えない方、地方の方はオンライン個人指導コース3をオススメします。
また他受講生の図面を観て学習するだけでなんとかいける！という方は、2.教材学習(2.5添削付)でも効果があります。
そして全てのベースになるのが、基礎知識習得コース1です。
不明な点は多々あると思いますので、お気軽にご質問ください。

B:エスキース系テキスト

B100Y	ステップで攻略するエスキース	対象：試験全般を学びたい方	オススメ度◎
内容	<p>A110YのUdemy（ベネッセが運営補助）オンライン講座のベーステキストです。テキスト内容についてのオンラインサポートと本年度課題(h30 対応)のオープン課題解説を行っています。</p> <p>ISBN978-4-7615-3234-5C0052</p>		
教材	学芸出版社刊 P128 A4 変版		
費用	3,000 円 + 税	備考	

B101Y	エスキースアプローチ	対象：試験全般を学びたい方	オススメ度◎
内容	<p>エスキースの方法論を説いた製図試験.com の前身学科製図.com のテキスト 平成 12 年～平成 18 年までの課題解説付。</p> <p>過去問題研究の上では重要なテキストとなります。絶版につき、弊社でのみ販売。</p>		
教材	学芸出版社刊 P128 A4 変版 978-4761502515		
費用	2,500 円（コース生 2,000 円）	備考 残冊のみ	

B102Y	わかるエスキース	対象：試験全般を学びたい方	オススメ度◎
内容	<p>全室リストの原形となる図解法を解説したテキストでステップエスキースの原形本。</p> <p>h19 及び h21-h23 別刷過去問題解説付。</p> <p>絶版につき、弊社でのみ販売。</p>		
教材	学芸出版社刊 P128 A4 変版 978-4761524371		
費用	2,800 円（コース生 2,200 円）	備考 残冊のみ	

B103S	エスキースアプローチ+わかるエスキース	対象：試験全般を学びたい方	オススメ度◎
内容	B101Y+B102Y セット価格とします。		
教材	学芸出版社刊 P128 A4 変版 2 冊組		
費用	4,000 円	備考 残冊のみ	

B104Y	エスキース FAQ	対象：試験全般を学びたい方	オススメ度○
内容	エスキースについて、よくある質問を問答形式でまとめました。 絶版だったのですが、コピー製本で復活させました。		
教材	A4 コピー製本 P128		
費用	1,800 円（コース生 1,200 円）	備考	

B200Y	h30 課題分析帖+パーツ集	対象：h30 課題分析を学びたい方	オススメ度◎
内容	h30 本年度試験課題を丸ごと解説。+ 本年度用エスキース手法をまとめています。 本年度受験するために必須のテキスト だと断言します。 コース生には全員配布します。 分析帖は 8 月 10 日頃発送、パーツ集は 9 月上旬ダウンロード版となります。		
教材	コピー製本 40 ページ程度 + パーツ集 25 ページ程度		
費用	6,000 円（分析帖 4,000 円 + パーツ集 2,000 円）	備考	

C:製図作図系

C100Y	用紙セット（10 枚+10 枚）	対象：用紙が必要な方	オススメ度○
内容	製図試験用 A2 の解答用紙（厚紙） + エスキース用紙（薄紙） 10 枚ずつセット。 紙だけ、薄紙だけ購入することも可能です。		
教材	A2 用紙		
費用	1,800 円（コース生 1,500 円）	備考	

C101Y	鉄腕作図テキスト+DVD	対象：3 時間作図ができていない方	オススメ度○
内容	作図方法の基本からポイントまでを解説したテキスト by 学科製図.com もう 10 年以上の隠れたベストセラーとなっています。 平成 18 年度課題をベースに解説しています。		
教材	鉄腕作図テキスト A4 : 50 ページ + 3 時間作図 DVD		
費用	3,500 円（コース生 3,000 円）	備考	

その他、シャープペン、テンプレート、フローティングディスク等を販売しています。

D:経験値系テキスト

D100Y	エマージェンシーマニュアル（復刻版）	対象：本試験体験が乏しい方	オススメ度○
内容	製図試験の経験値が少ない方、初受験の方に贈る試験会場で何が起きているのかというテキストです。平成13年、14年版なのですが、平成30年でも十分読み応えがあり、コピー製本で復刻しました。		
教材	A4 コピー製本 P128（元々は学芸出版社刊行）		
費用	1,800円（コース生 1,500円）	備考	

D290S	本試験再現図面集	対象：本試験体験が乏しい方	オススメ度○
内容	本試験分析をする上で欠かせない1冊。30枚の本試験再現図面を解説。		
教材	A3 コピー製本 P50（元々は学芸出版社刊行）		
費用	3,000円（コース生 2,500円）	備考	6月に刊行予定

E:講習会・模試

弊社では直接指導塾を中心に、オープンな講習会及び模試を行っています。講習会は講義とワークショップで構成しています。

日程予定	タイトル	内容	費用
7月25/26/27日29日(大阪) 26/27/28日(東京)	H30 ライブ レクチャー	h30の課題概略解説会	1,000円
8月11日(大阪) 12日13日(東京) 14日(名古屋) 予定	夏期講習会	H30 課題解説+ワークショップ 課題分析帖付	18,000円 (コース生) 13,000円
未定	9月講習会	H30 課題解説+ワークショップ	18,000円
10月6日土曜日	直前講習+模試	東京開催(模試 15,000円、直前 5,000円)	20,000円
10月7日日曜日	直前講習+模試	大阪開催(模試 15,000円、直前 5,000円)	20,000円
10月8日祝日	オンライン講習	オンライン解説	5,000円

その他、日程が合えば、地方他でも講習会を予定しています。メルマガをご参照ください。

学習教材		内容	期間	価格(税込)	コース生価格
A-4つのコース：製図試験.comがおススメする合格のためのコースです。					
A106Y	JUNE PROGRAM	Udemyオンライン公共建築系過去問題分析	6月-	10,000円	含む
A110Y	基礎知識習得コース1	Udemyオンライン基本学習セット+A106Y	5月-	30,000円	含む
A210S	h30課題教材支援コース2(教材のみ)	A110Y+本年度5課題+5基礎課題	8月-10月	77,000円	
A250S	h30課題教材支援コース2.5(添削あり)	A210S+本年度5課題添削	8月-10月	97,000円 102,000円	
A310S	h30課題オンライン指導コース3	A250S+オンライン添削指導	8月-10月	149,000円 159,000円	
A410S	直接指導塾BMSコース4	A310S+直接講習他	8月-10月	209,000円 219,000円	
B-エスキース系：製図試験.com(学科製図.com含む)のエスキーステキスト					
B100Y	ステップで攻略するエスキース	h29学芸出版社刊	既刊	3,000円	含む
B101Y	エスキースアプローチ	h17学芸出版社刊	既刊	2,500円	2,000円
B102Y	わかるエスキース	h19学芸出版社刊	既刊	2,800円	2,200円
B103S	エスキースアプローチ+わかるエスキース	2冊セット価格で販売します。	既刊	4,000円	4,000円
B104Y	エスキースFAQ復刻版	エスキースの質問を解説。コピー製本による復刻版	既刊	1,800円	1,200円
B200Y	h30課題分析帖+h30パーツ集	h30課題分析テキスト(A110Yに含む)	8月他	6,000円	含む
C-製図作図系：製図テキストから道具まで					
C100S	用紙セット(10枚+10枚)	作図用紙・エスキース用紙あります。	通年	1,800円	1,500円
C101Y	鉄腕作図テキスト+DVD	作図テキスト+DVD	既刊	3,500円	3,000円
C111Y~	テンプレート/シャーペン/他	h20学芸出版社刊	通年	HP参照	
D-経験値系：合格ドキュメント/再現図面集他					
D100Y	エマー・ジェンシーマニュアル復刻版	h13/h14本試験体験記。コピー製本復刻版	既刊	1,500円	1,300円
D290S	h29再現図面集(予定)	h29再現図面+ドキュメント	6月	3,000円	2,500円
E-講習会・模試					
E000Z	月一講習会(東京・大阪)	前半戦月1回の製図試験対策セミナーです。	1-7月	15,000円	12,000円
E801Z	夏期講習会	平成30年度課題の解説	8月他	18,000円	13,000円
E990Z	直前講習会	試験1週間前の直前講習会です。	10月	5,000円	3,000円
E701Z	シンクロ二模試	前半戦のまとめ及び本試験1週間前に行います。	7月/10月	各15,000円	含む
F-その他					
F001Y~	領収書・修了書他書類関連	コースのみ分割支払いも可能です。	通年	-	0円
FAXでのお申込(020-4665-1911)		申込者氏名			
振込先：有限会社I.L.D.		住所			
ジャパンネット銀行すずめ支店(普)3175127		電話番号			

参考：学習方法の要諦

1) G：合格から逆算すること

合格するためには、現時点で**合格ラインに対して何が足りないのか**を明快にし、試験日までにその**足りない部分を補うこと**です。そのためには多くの課題をやることも重要ですが、人と同じ事をやってもダメで、あなたにとっての弱点を見つけ出し、あなたのためだけのプログラムを組んでその部分を補うことです。

2) D：できるまでやること

足りない力を見つけてしまえば、それを「**できるまでやる**」ことです。この試験は4割前後の受験生が合格する試験です。そこまで困難性の高い試験ではありません。ならば「できる」までは諦めずやることです。「わかった！」までは引き下がらないことです。ポイントはひとつだけ。**わかる範囲を細分化し限定すること**です。範囲が狭ければ確実に進むし、期間を短時間となります。

3) S：使える形にしてストックすること

今まで足りなかった部分が補えたら、その部分を**あなたの必殺技＝使える形にしてストックすること**です。そして問題文と対峙する際、そのストックから使える必殺技を出すわけです。

イメージはサンダーバード2号やドラえもんポケットです。いざというときにポケットから必殺技を出す感じを身につけましょう。



4) GDS を回すこと。

そして上記3点、GDS（逆算→できる→ストック）をひたすら地道に回す（くり返す）こと。これが合格のための要諦です。この考え方は、宇都出雅巳先生のKTK法（高速大量回転法）をベースにしています。

5) 居つかないこと。

ちょっと長い引用になりますが、内田樹氏の「知に働けば蔵が建つ」からのアレンジで。

『目の前の問題文が、何をやらせたいのか、自分自身がどう解答すればよいかわからなくなったとき、私たちは頭上に「？」を点じたまま、凍り付いてしまう。これが「居つき」と呼ばれる状態である。一度この状態に陥った者は、答えが見えるようになるまで「待ち」の姿勢に固着してしまう。これが「先手をとられる」という必敗の様態なのである。

「先手をとり」とは何も「相手より早く動く」ということではない。居つきが起らないように、問題文の意図を読むこと、わからなくなる前にヒントを問題文や自身のストックから呼び起こすことである。』

つまり、日頃の学習を進める中で、常に居つかないようにする鍛錬、GDSを回す、ということがこの製図試験に限らず、先手をとるための重要な要諦なのです。

参考：試験本番であがってしまう方へ

リラックスの逆説

以下の文章は私の師である内田樹氏の言説の一部引用です。

試験本番であがってしまう方に『リラックスの逆説』を紹介します。よく『あがるな、リラックスしろ』と言いますよね。しかし『リラックスしないと合格できない』という条件でリラックスできる人間はいません。試験ではリラックスできないと解答の精度が上がらない、だからリラックスせねば・・・というのは、すでに文型そのものがストレス負荷的に構文されていますから、その条件下でリラックスするのは困難です。

『リラックスする』というのは『いざ試験会場で問題を解くとき』にやることではありません。リラックスというのは『すでにリラックスしている』という状態の動詞であって、『リラックスする』という遂行の動詞ではありません。

胆力 = 時間意識

リラックスを担保する心的条件は『胆力』です。『胆力』というのは端的に言えば、『時間意識』です。

『自分が死んだとき』まで想像力を延長して、そこから今の自分を回顧する『逆流する時間意識』をもつ人間はあまり驚いたり、不安になったりしません。武道の場合は、そのつど『死ぬこと』を想定して、想像的に死んだ時点から動きを反省的に構築するわけです。別に形稽古の最中に死ぬわけではなく、ほんとうにあと何十年かあとに死んだときの自分を想定して、そこから現在の自分が『ここにおいて、ある動きをしていること』の歴史的必然性を見いだしてゆく、という手順を踏みます。

当日のリラックス = 日々の鍛錬から

つまり、ご自身が納得できるだけの学習を積んで、本試験会場に立っているということについて確信が持てるなら、その時の動きは完全にリラックスしているベストパフォーマンスであるはずですよ。やることをやって試験会場にいるのであれば、それ以上のパフォーマンスはないのです。結論として試験会場でリラックスするためには、日々の学習のうちから鍛えておくことが肝要だということです。

悲観的な方はどれだけ鍛えても「まだ足りない」と思うかもしれません。しかしそれは自身の努力を信じきれてないからです。ただ、どれだけ努力しても本人がそう思えない方は大舞台や本試験にはあまり向いていないタイプなのかもしれませんし、実際にそういう方もおられます。逆に、それほど学習を積んでいなくても自身がやれる範囲のことは全てやったと思えるのであれば、リラックスのための条件は揃います。それを胆力 = 時間意識と捉え、いかに日頃からそれを意識して製図板に向かっているのかで勝負を分けると考えてください。

製図試験.com では、テニスの福田雅之助氏の言葉をアレンジして、

この一筆は絶対無二の一筆なり。されば身心を挙げて一筆すべし。

この一筆に技を磨き体力を鍛へ精神力を養ふべきなり。

この一筆に今の自己を発揮すべし。これを建築する心といふ。

と言い換えています。この「絶対無二」の一筆とは、まさしく時間意識に他なりません。かけがえのないあなたの貴重な時間を使って、あなたは一級建築士設計製図試験に挑むわけですよ。リラックスする？しない？ということ自体、既にどうでもよくなりませんか。

日々絶対無二の毎日を送っているのです。試験にあがってしまうというのは、その時間意識が足りない、もしくはそういう意識を日頃から持たずに練習しているということなのです。あがらないコツは、日々の鍛錬にあります。そう断言します。

参考：製図試験.COM の飛び道具

ZOOM

この5年来、様々なオンラインツールを検討してきましたが、この ZOOM がオンラインウェブセミナー（webinar）を決定づけるアプリとなりました。PC、タブレット、スマホから利用可能で、同時利用 100 名まで可能なウェブセミナー＝ウェビナーアプリです。

このアプリを利用して、個人指導及び課題講評を動画配信で行います。利点は、

- ①同時に 100 名まで受講することが可能
- ②データが軽く、あまり機種・環境に依存しない
- ③クラウドで録画し、欠席者は後日閲覧可能 等です。

特に弊社では、後半戦の期間中には常時質問室を ZOOM で開設し、いつでも事務所に訪ねるようにオンラインで質問できる状態を作る予定です。



BAND

コース生とのコミュニケーションをとる際、LINE が最も即応性が高く便利ですが、残念ながら携帯電話番号と紐付けされているため、個人のプライバシー情報として、LINE を使いたくない方が多い事実がありました。BAND は LINE と同じ会社が運営しつつ、グループメッセージがメインで個人とのやりとりがサブとなっていて、かつ匿名性の高いアプリです。やはり PC、タブレット、スマホから利用可能であり、非常に即応性が高いので今期採用しています。



Udemy

Udemy はベネッセが日本代理店となっているオンライン学習アプリです。弊社では昨年までメール配信で日々の基礎学習を行っていましたが、文字情報のみを中心となってしまっていて、電車や運転中に学習することは難しかったのですが、Udemy で合格基礎講座（エスキース、要点、作図、過去問題）をやることでいつでもどこでも学習できる環境を作ることができるようになりました。

このアプリも PC、タブレット、スマホから利用可能であり、今後のオンライン学習の可能性を感じさせるツールとなっています。



REVIT (BIM)

CAD から BIM（Building Information Modeling）への流れは必ず必要だと考えており、来年度からの予定ですが、製図試験.com では BIM アプリの最前線である REVIT で解答例を準備しようとしています。受講生は 3 DVIEWER で空間を体感できる予定ですので乞うご期待。また卒業生を中心に BIM 勉強会も予定しています。



製図試験.COM について

名称：製図試験.com (<http://seizushiken.com>)

運営：有限会社 I.L.D.

連絡先：〒554-0012

大阪市此花区西九条 2-7-8 田丸ビル 3 階

電話 06-7181-3701 FAX 020-4665-1911

メール：guchi@seizushiken.com

銀行：ジャパンネット銀行すずめ支店

普) 3175127 ヌ) アイエルディ

郵便振替：00970-2-222802 ヌ) アイエルディ

関連サイト：

FB <http://facebook.com/seizushiken/>

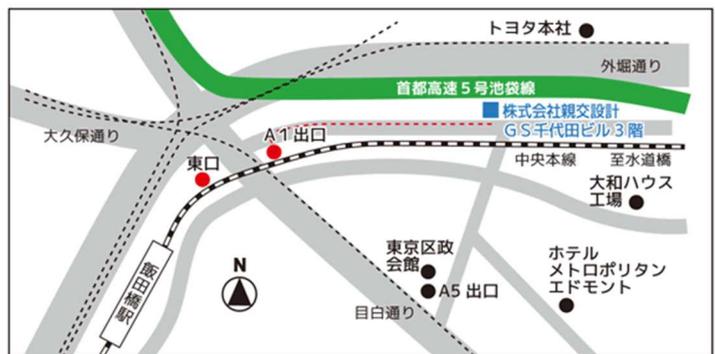
ツイッター <http://twitter.com/seizushiken/>

東京講習会場：

親交セミナールーム

〒102-0072

東京都千代田区飯田橋 3-11-14 GS 千代田ビル 3 階



JR 中央本線飯田橋駅東口より徒歩 5 分
東京メトロ飯田橋駅 A5 出口もしくは A1 出口より徒歩 4 分



主宰：山口 達也（ハンドルネーム：曾根 徹）
1962 年 11 月 26 日生
大阪工業大学建築学科都市計画研究室
神戸大学環境計画学専攻、工学修士（早川和男研究室）
阪神電鉄就職後、レンゾピアノビルディングワークショップに転職。
都市計画コンサルタント、経営コンサルタント、CM 会社等を経て、
有限会社 I.L.D. を設立。セルフビルディング中心に設計活動の傍ら、
2000 年に「学科製図.com」を設立。
17 年間で 2,600 名以上の一級建築士を輩出。
2015 年コンテンツをまとめなおし、「製図試験.com」を立ち上げ。
一級建築士設計製図試験だけに特化したしくみを開始。
業界初のオンライン添削・ZOOM ウェビナーを開始。
2018 年より学科試験.com も同時に主宰。

このマニュアルは 2018/07/22 現在のものです。
コンテンツの無断利用は固く禁じます。
Copyright © 製図試験.com All rights reserved.